

【令和3年度】 一般会計決算の概要

図 財政課 ☎049-257-5163

財政健全化の状況

本市独自基準(財政運営判断指標)

「富士見市健全な財政運営に関する条例」に基づく財政運営判断指標は、おおむね前年度より向上しています。

財政運営判断指標	令和2年度決算実績	令和3年度決算実績	目標値
財政力指数(※1)	0.837	0.821	0.860
経常収支比率(※2)	91.1%	87.3%	90.0%以下
財政調整基金比率(※3)	19.8%	20.0%	15.0%以上
地方債残高比率(※4)	117%	109%	120%以下
債務償還可能年限(※5)	4.3年	3.2年	4.5年以下

- (※1) 財政基盤の強さ。指数が大きいほど財政力が強い
- (※2) 財政構造の弾力性。比率が低いほど弾力性が高い
- (※3) 標準的な1年間の収入(標準財政規模)に対する財政調整基金残高の割合。比率が高いほど貯金が多い
- (※4) 標準財政規模に対する地方債残高の割合。比率が低いほど残高が小さい
- (※5) 負債総額が返済可能な規模になっているかを表す。年数が小さいほど負債が小さい

国基準(健全化判断比率)

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく健全化判断比率は、すべての指標で健全な数値を維持しています。

健全化判断比率	令和3年度決算実績	早期健全化基準値
実質赤字比率(※1)	-	12.28%以下
連結実質赤字比率(※2)	-	17.28%以下
実質公債費比率(※3)	2.5%	25.0%以下
将来負担比率(※4)	-	350.0%以下

- (※1) 標準財政規模に対する一般会計等(一般会計、鶴瀬駅西口土地区画整理事業特別会計、鶴瀬駅東口土地区画整理事業特別会計、公共用地先行取得事業特別会計)の実質赤字額の割合。赤字ではない場合は「-」と表記
- (※2) 標準財政規模に対する市のすべての会計の実質赤字額の割合。赤字ではない場合は「-」と表記
- (※3) 標準財政規模に対する一般会計等で負担する借入金の償還金等の割合。比率が小さいほど負債が小さい
- (※4) 標準財政規模に対する一般会計等で将来負担する負債の割合。充当可能財源が将来負担額を上回る場合は「-」と表記

債務と貯金の状況

市の債務
(市の全会計の債務残高) **329億円**
(前年度比-7億円)

市の貯金
(財政調整基金の残高) **44.7億円**
(前年度比+3.4億円)

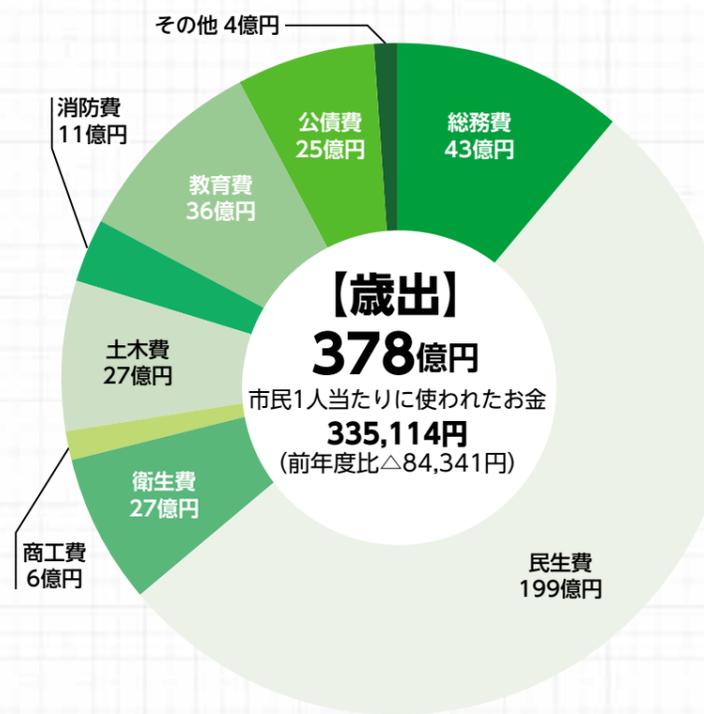
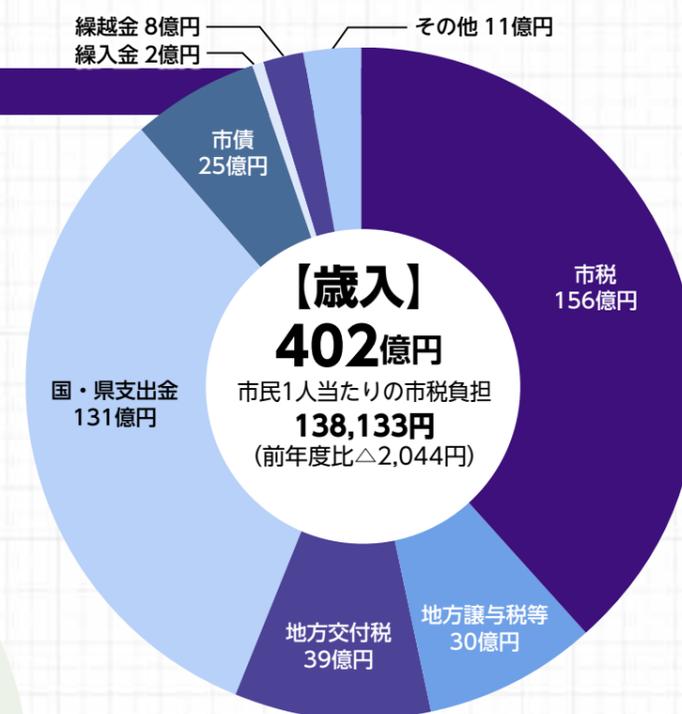


令和3年度の歳入・歳出

歳入(収入)は前年度と比べて80億1,044万287円減の401億7,795万7,738円、歳出(支出)は前年度と比べて92億5,794万9,877円減の378億656万8,620円となりました。翌年度に繰り越す財源を除いた実質収支は、14億9,363万2,795円の黒字となりました。

歳入(収入)の主な特徴

- 市税収入は、固定資産税の減などにより、前年度に比べ1.4億円の減
- 地方譲与税等は、地方消費税交付金の増などにより、前年度に比べ3.8億円の増
- 国・県支出金は、特別定額給付金に係る補助金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の減などにより、前年度に比べ89.4億円の減



歳出(支出)の主な特徴

- 民生費は、特別定額給付金やひとり親世帯臨時特別給付金の減などにより、前年度に比べ82.6億円の減
- 土木費は、岡川排水機場整備工事費の減などにより前年度に比べ4.9億円の減
- 教育費は、GIGAスクール構想に伴う基盤整備やパソコン購入費の減などにより、前年度に比べ9億円の減

地方消費税交付金(社会保障财源化分)の使いみち

地方消費税交付金のうち社会保障财源化分の13億2,403万3千円は、次の経費に使用しました。

・社会福祉関係(子育て、高齢者福祉など)	791,009,000円
・社会保険関係(国民健康保険、介護保険など)	459,044,000円
・保健衛生関係(疾病予防、医療体制確保など)	73,980,000円
計	1,324,033,000円

誰もが元気に生き生きとした生活を送ることができる取組み

- 母子に対する切れ目のない支援の実施
▶566万円
- 乳がん検診の推進
▶722万円
- 産前産後サポート事業の実施
▶71万円
- 禁煙治療への補助
▶2万円



こんにちは赤ちゃん事業



ママのリラックスタイム

市民の生命・財産を守る取組み

- 成年後見制度の利用促進
▶697万円
- 水谷東3丁目地内公園用地の取得
▶3,770万円
- 空家の改修や利活用、除去などの促進
▶142万円
- 小中学校体育館空調設備の設計の実施
▶755万円
- 非常時用備蓄食料「救給カレー」の購入
▶288万円



成年後見制度の利用促進



小中学校体育館の空調設備

新型コロナウイルス感染症への取組み

- 新型コロナワクチン接種体制の整備
▶6億4,850万円
- プレミアム付商品券の発行
▶1億9,789万円
- 市内小規模事業者などへの支援
▶2億6,400万円
- 避難所の感染症対策物品などの購入
▶1,356万円
- 公共施設の自動水栓化
▶1,865万円
- 非課税世帯などへの給付金の支給
▶7億9,855万円
- 生活困窮者自立支援金の支給
▶3,206万円
- 保育施設や放課後児童クラブなどの従事者に対する慰労金の支給
▶9,270万円
- 自宅療養者および濃厚接触者に対する支援品の支給
▶961万円



新型コロナワクチンの接種



プレミアム付商品券

第6次基本構想・第1期基本計画に基づく取組み

- 鶴瀬駅東口駅前広場の整備
▶4,046万円
- 文化芸術によるまちづくり補助金の交付
▶72万円
- つるせ台小学校校庭の芝生化
▶4,492万円
- 保育施設整備工事への補助
▶1億6,947万円
- 公園遊具の改修
▶7,053万円

芝生が整備されたつるせ台小学校の校庭



- 中小企業者に対する相談支援
▶116万円
- 小中学校への大型液晶モニターの設置
▶1,422万円



小中学校に整備された大型液晶モニター

令和3年度に取り組んだ 主な事業

令和3年度は、第6次基本構想に掲げる理想の「未来」である「充実した日々」の実現に向けた取組みを着実に進めるため、市民の生命・財産を守る取組み、誰もが元気に生き生きとした生活を送ることができる取組み、市のポテンシャルを活かした取組みなどを実施しました。

また、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策を積極的に講じたほか、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関連した各種取組みを実施しました。

市のポテンシャルを活かした取組み

- 緑の散歩道「関沢」の用地取得
▶1億1,920万円
- シティプロモーションの推進
▶461万円
- 富士見ブランドへの支援
▶76万円
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の取組み
▶3,492万円



市をPRする電車広告



セルビア共和国レスリング選手団のオリンピック事前キャンプ



オリンピック聖火リレー